

<<注意報>><<注意報>><<注意報>><<注意報>><<注意報>>

26 農試病防第 27828-8 号
平成 27 年 3 月 25 日

各関係機関長 殿

香川県農業試験場病害虫防除所長
(公 印 省 略)

平成 26 年度病害虫発生予察注意報第 7 号について

このことについて、次のとおり発表したので送付します。

平成 26 年度 病害虫発生予察注意報 第 7 号

1. 病害虫名 : **レタスべと病**
2. 対象作物 : **レタス、非結球レタス**
3. 発生が予想される地域 : **県下全域**
4. 発生程度 : **多**
5. 注意報発表の根拠
 - 1) 3月下旬に実施した3~4月どりレタスでの発生調査では、発生圃場率は26.7% (過去7か年平均: 0%)、発病株率は34.0% (過去7か年平均: 0%) であり、発生量が多い状況であった (第1表)。
 - 2) 3月は平年に比べ降水量が多く経過し圃場の土壌水分が多い状態が続いていることから、今後さらに増加するおそれがある。

第1表 レタスべと病の年次別発生状況

調査年	発生圃場率 (%)			発生圃場の発病株率 (%)		
	1月下旬	2月下旬	3月下旬	1月下旬	2月下旬	3月下旬
2005	0.0	0.0				
2006	0.0	0.0				
2007	0.0	0.0				
2008	0.0	0.0	0.0			
2009	0.0	0.0	0.0			
2010	0.0	0.0	0.0			
2011	0.0	0.0	0.0			
2012	0.0	0.0	0.0			
2013	0.0	0.0	0.0			
2014	0.0	0.0	0.0			
2015	6.3	0.0	26.7	0.5		34.0
平年値*	0.0	0.0	0.0	-	-	-

* : 3月下旬は7か年の平均値。

6. 防除対策

- 1) 育苗期の発病株が伝染源になるので育苗期の防除を徹底し、発病株を本圃に定植しないよう苗を厳選する。
- 2) 発生初期から薬剤を予防的に散布する。この場合、薬剤が葉裏に十分付着するよう散布する。特に結球期に発生すると、結球葉まで病気が進展しやすいので、発生を認めたら直ちに防除する。

- 3) 多湿条件で蔓延しやすいため、圃場の排水を良くするとともに、トンネル内部が過湿にならないように換気に留意する。
- 4) 周囲への感染拡大を防ぐため、被害残渣は圃場外に持ち出すなど適正に処分する。

第2表 レタスのべと病の防除薬剤(香川県主要農作物病害虫・雑草防除指針より)

系統分類	薬剤名	希釈倍数等	使用時期/回数
有機銅	キノンドー水和剤40	600倍	21/5
ノニルフェノールスルホン酸銅	ヨネポン水和剤	500倍	14/4
カルボン酸アミド	レーバスフロアブル	2,000倍	7/3
QoI殺菌剤	アミスター20フロアブル	2,000倍	7/4
Qii殺菌剤	ランマンフロアブル	2,000倍	3/3
Qii殺菌剤	ライメイフロアブル	2,000倍	3/3
クロロニトリル	ダコニール1000	1,000倍	14/3
有機銅+クロロニトリル	シトラーノフロアブル	1,000~1,200倍	21/3
無機銅+カルボン酸アミド	フェスティバルC水和剤	1,000倍	3/3
QoI殺菌剤+SDHI	シグナムWDG	1,500~2,000倍	14/1
フェニルアミド+クロロニトリル	フォリオゴールド	800倍	14/3

第3表 非結球レタスのべと病の防除薬剤(香川県主要農作物病害虫・雑草防除指針より)

系統分類	薬剤名	希釈倍数等	使用時期/回数
カルボン酸アミド	レーバスフロアブル	2,000倍	7/3
QoI殺菌剤	アミスター20フロアブル	2,000倍	7/4
Qii殺菌剤	ランマンフロアブル	2,000倍	3/3
Qii殺菌剤	ライメイフロアブル	2,000倍	7/3

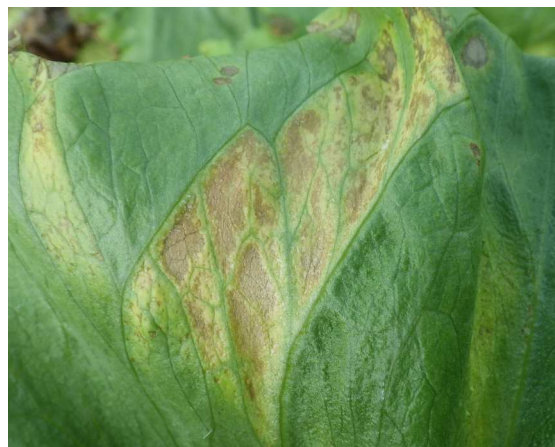


写真1 地際の外葉に発生した葉脈に囲まれた黄色～褐色の斑紋

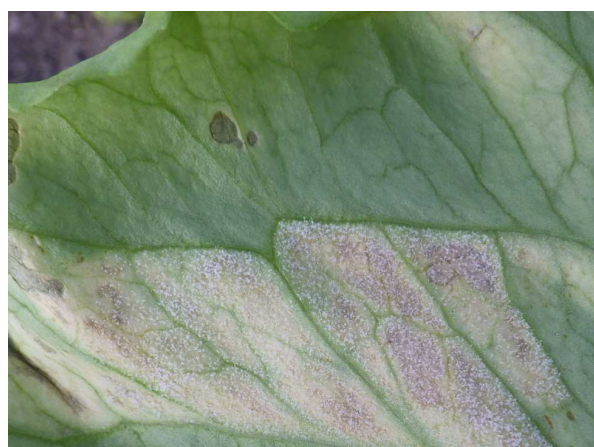


写真2 葉裏に形成された粉状の胞子

病害虫防除所インターネットホームページ

URL: <http://www.jppn.ne.jp/kagawa/>